



## 第23号にあたって

新年明けましておめでとうございます。昨年、日本では新型コロナウイルス感染症の流行の継続、熱海伊豆山の土砂崩れ、東京オリンピックの無観客開催、各地での地震や豪雨などがありました。また、米国では巨大竜巻による甚大な被害もみられ、地球温暖化の影響も懸念されています。今年は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の流行が最小限にとどまることと自然災害が起きず、皆が活躍できる穏やかな一年になることを願っています。

年末年始に多くの人々が移動したことによる新型コロナの再流行予防のため、マスク着用とアルコール消毒による感染予防の徹底をお願いします。

今回は、病気の知識として「頭を打った（頭部打撲）」を取りあげました。また、Q&Aには「新型コロナの抗原定性検査とPCR検査（核酸検出検査）の違い」と「マイナンバーカードの健康保険証利用」を掲載しました。最終ページには、診療時間、交通アクセス、救急疾患検索サイトのアドレスなどが掲載されていますのでご利用下さい。



## 新型コロナとインフルエンザの同時検査について

冬期間はインフルエンザの流行がみられる時期です。まだインフルエンザは流行していませんが、発熱等の症状からは、新型コロナとインフルエンザの鑑別はできません。そのため、冬期間は発熱等で受診した患者さんに対して、新型コロナの単独検査でなく、「新型コロナとインフルエンザの同時検査」に変更して実施しています。検査方法は単独検査と同じで1回の鼻腔ぬぐい液採取で行います。

小児の場合は、診察医の判断により、溶連菌やRSウイルスの検査も含め必要な検査を行います。

## 病気の知識

### 頭を打った（頭部打撲）

“打ったあとの症状の観察が重要！”

子どもが遊具や高いところから落ちて頭を打ったり、スポーツ中や交通事故による頭部打撲、高齢者が転倒して頭を打つなど、日常生活でよくみられるケガですが、軽症のものから生命にかかわる重篤なものまで、頭への衝撃の程度や年齢により症状はいろいろなので、あわてないで傷の程度や容態の観察が重要です。

#### 【症状】

- まず、呼吸状態や手足の動きやしびれ感を観察して、問題がないことを確かめましょう。頸椎（首の骨）を痛めると呼吸や四肢に異常をきたすので、異常があれば不用意に動かさないようにして救急車を呼んで下さい。
- 次いで、傷口があれば止血しつつ、意識状態の程度を確かめ、意識障害があれば救急車を呼んで下さい。

#### ①頭皮損傷、皮下血腫（たんこぶ）

- 頭皮は血管に富むため、手足の傷に比べると出血が多くなるのであわてないで下さい。
- 成人では頭皮からの出血だけで命に関わることはまずないので、清潔なハンカチやタオルを当て、圧迫止血を行います。おさえても止まらないときは、違うところからもでているかもしれません。15分もおさえれば通常は止まることが多いです。髪の毛で傷がわかりにくいので、よく観察して落ち着いて止血してください。
- 乳児では出血が多いと命に関わることもあるので、傷に当てたハンカチやタオルに出血が広がってくるようなら、すぐに救急車を呼んで下さい。

#### ②頭蓋骨骨折

- 通常、外表からでは骨折はわかりません。線状のヒビのような骨折をきたすことがあります。子供ではピンポン球のようなへこみをつくる陥没骨折もあります。

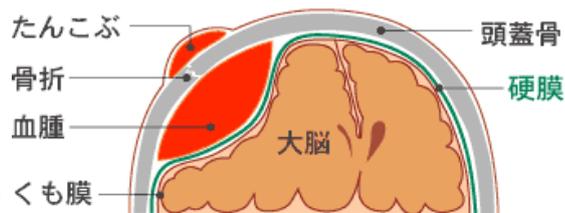


③脳挫傷、外傷性脳内血腫（急性硬膜外血腫：右図、など）

- ・脳の損傷や血腫では意識障害や精神症状、言語障害などの神経症状を残します。

【検査】

- ・頭部CT検査は被曝の影響があり、特に小児では放射線による感受性が大きいと言われているので「何かあったら困るから」という親の希望で行うのではなく、医師が診察し、CTが必要だと判断した時に検査することが推奨されています。



急性硬膜外血腫

自宅で様子を見る

- ・軽い打撲で、意識状態も変わりなく、傷も小さく、出血も止まった場合。
- ・自宅で様子を見る場合、下段の【頭部外傷後の注意】をしっかりと守ることが大切です。



待つ

至急病院へ

- ・頭を打ったあと次の症状がみられる場合は、脳外科のある病院を受診して下さい。
- ・急患診療センター脳外科診療は、休日の朝9時から夕方6時（受付は5時半まで）です。

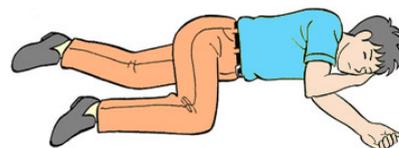


行く

【受診すべき症状】

①脳や神経の異常が疑われる症状

- ・頭痛が続き次第にひどくなる
- ・おう吐をくり返す  
おう吐しそうになったら、体と顔を横に向けて、吐物がのどに詰まらないようにして下さい（図）
- ・ぐったりしている、ぼんやりしている、ふらふらしている
- ・けがの前後の記憶が曖昧
- ・言葉や会話に異常がある
- ・手足の動きに異常がある
- ・けいれん・ひきつけを起こす



②傷が大きい（頭皮が裂ける、出血が止まらない）

③顔面骨折が疑われる症状

- ・目のまわりや頬がひどく腫れている
- ・ものが二重に見える
- ・鼻が変形している
- ・さらさらとした水のような液体が鼻から出る

救急車を



呼ぶ

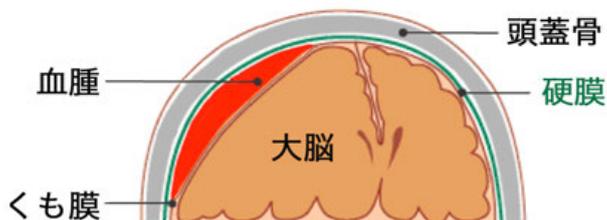
- ・高所からの転落や激しい事故の場合
- ・呼吸状態や意識がおかしい場合、手足の麻痺がある場合
- ・けいれんがみられる場合
- ・乳児で出血が多く、傷に当てたハンカチやタオルに出血が広がってくる場合

【頭部外傷後の注意】

- ・頭を打った直後は、何とも無くても、また、頭部CT検査で異常がなくても、時間が経ってから（多くは数時間～2, 3日後）頭の中に出血が広がったり、脳が腫れることがあります。
- ・そのため、受傷直後の診察や検査で「異常はありません」「とりあえず大丈夫」とされた場合でも、数日以内、特に24時間以内は注意し、一人にしないで様子を見て下さい。
- ・受傷翌日、食事もできて、頭痛、おう吐、めまい、ふらつきなどの症状が全くなければ、ほぼ心配ないと思われます。
- ・高齢者では、直後は無症状であっても時間が経ってから（数週間～約3ヶ月後）徐々に慢性硬膜下血腫（下図）ができることがあります。徐々に、頭が重い、転びやすい、ぼけてきたなどが出現したなら、医療機関を受診して下さい。精神症状（ぼけ症状）が唯一の症状の場合もあります。

【小児の場合に特に注意が必要なこと】

- ・小児、特に乳幼児は、自分の症状をうまく表現することができません。なんとなく元気がない、ぐったりしている、顔色が悪いなど、周りの大人の直感が大切です。
- ・泣いた後で、疲れて寝入る場合もあります。いつもであればこれくらいの刺激を与えると目を覚ますはずなのに、反応が変だという場合など、何か、様子がおかしいと感じた時には医師等への相談が必要です。



慢性硬膜下血腫

- ・小児は大人に比べ、頭の中に血腫が無くても、頭部外傷後に1、2回吐くのが普通で、吐きやすい状態がしばらく続きます。従って、刺激を避けるため、受傷直後の経口摂取を控えめにしてください。ただし、乳幼児では、脱水状態に陥りやすいので、配慮が必要です。“なまあくび”や口から吐く息が臭いなどの症状もこうした時に見られる症状です。



#### 【小児の場合】

- ・転倒、転落、打撲による事故は1歳前後に多く、1歳前後は頭部が大きく重たいため転落転倒では頭部を強打しやすくなります。
- ・床は整理整頓して下さい。
- ・風呂の洗い場でのスリップ事故も多いので、滑り止めマットも検討して下さい。
- ・屋内では、階段、椅子、ベッド、ソファ、遊具からの転落が多いため、ふざけさせないようにして下さい。また、階段などには柵も有効です。
- ・ベランダや窓から転落することもあるので、ベランダなどには踏み台になるような物は置かないようにするとともに、室内から踏み台になるものを持って行くことなので注意が必要です。
- ・買い物カート内で立ち上がったの転落も多いため、カート内では必ず座らせて下さい。

## Q & A (質問に答えて)

Q1：新型コロナの“抗原定性検査”と“PCR検査（核酸検出検査）”の違いは何ですか？

新型コロナウイルス感染症の検査には、検査方法によりPCR（核酸検出検査）、抗原検査（定性、定量）、抗体検査があります。また、検体も、採取する部位により、鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液、唾液、痰などがあります。



- ・当センターで行っている検査は、「鼻咽頭ぬぐい液による抗原定性検査（右図）」です。ウイルスに特異的な抗体で、ウイルス蛋白質（抗原）を検出する迅速検査です。遺伝子検査であるPCR検査は正確ですが結果が出るまでに時間がかかります。



- ・発熱等の症状がある患者さんが多数受診する当センターでは、簡便かつ迅速（約15分）に検査結果が判明する抗原定性検査を採用しています。抗原定性検査で陽性（または疑い）の場合には、PCR検査を行うための唾液を採取し（左図）その後については保健所に引き継いでいます。当センターのこれまでの結果では、抗原定性検査とPCR検査の一致率は90%以上で診療に役立っています。

Q2：マイナンバーカードの健康保険証利用について教えてください

マイナンバーカードの健康保険証利用が一部の医療機関と薬局で昨年10月から開始されましたが、マイナンバーカードを持参すれば全ての医療機関や薬局で、すぐに健康保険証として利用できるわけではないので注意が必要です。

- ・まず、対応している医療機関・薬局（目印としてステッカーやポスター等で掲示）でしか利用できません（利用できる医療機関・薬局は厚生労働省のホームページで公開しています）。今後増えていき、2023年3月には多くの医療機関で可能になる予定といわれています。
- ・急患診療センターでも対応予定ですが準備中なので、利用できるようになったら、ポスター等でお知らせします。
- ・マイナンバーカードを利用する場合でも、最初は保険証のほか高齢受給者証、限度額適用認定証等も併せて持参したほうが良いでしょう。
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用には、①マイナンバーカードの取得のほかに②健康保険証利用の事前申込みが必要です。健康保険証利用の申込みには、マイナンバーカード読取対応のスマートフォン（または、パソコン+ICカードリーダー）を使っての手続きが必要になります。詳しくは、厚生労働省のホームページ等をご覧ください。
- ・メリットとしては、転職・結婚・引越されても、新しい健康保険証の発行を待たずに、保険者での手続きが完了次第、継続で健康保険証として使えることがあげられます。
- ・また、患者が同意をすれば、医療機関・薬局が患者の特定健診情報や薬剤情報を閲覧することが可能になりましたので、初めての医療機関等でも今までに使った薬の情報が医師等と共有できるなどのメリットがあると言われています。詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。



診療時間



★土曜日の在宅当番医

【産婦人科】

午後2時～午後6時  
(当番医はホームページ「新潟市産婦人科医会」に掲載されます)

当番医は、当センターにもお問い合わせできます。

診療科目	診療日	診療時間
内科 小児科	平日	午後7時～翌日午前7時 (受付時間：午後7時～翌日午前6時30分)
	土曜	午後2時～翌日午前9時 (受付時間：午後2時～翌日午前9時)
	日曜・祝日	午前9時～翌日午前7時 (受付時間：午前9時～翌日午前6時30分)
整形外科	平日	午後7時～午後10時 (受付時間：午後7時～午後9時30分)
	土曜	午後3時～翌日午前9時 (受付時間：午後3時～翌日午前9時)
	日曜・祝日	午前9時～午後10時 (受付時間：午前9時～午後9時30分)
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳外科	平日	診察はしていません
	土曜	診察はしていません
	日曜・祝日	午前9時～午後6時 (受付時間：午前9時～午後5時30分)



＜急患診療センターの理念＞

市民と共に  
市民に信頼される  
救急医療の継続提供をめざします

＜理念の説明＞

- ① 市民の理解と協力、支援により円滑な運営が可能になります
- ② 職員は、質の高い急患診療を提供できるよう努力いたします
- ③ 超高齢社会、医師不足のなか、診療体制の維持継続を行うことが必要です

あとがき

猛威を振るった新型コロナ感染の第5波も急速に減少し、緊急事態宣言も解除されました。しかし、新型コロナウイルスも手強く、オミクロン株に変異し、感染の再拡大が懸念されています。新潟県でもワクチン接種を受けていない学童のクラスターが発生し、感染力の強いオミクロン株の流行に備え、一層の感染予防と対象者の3回目のワクチン接種を受けるようにお願いします。

新潟市急患診療センター  
ホームページ  
<http://www.niigata-er.org>

新潟市医師会  
救急疾患検索サイト  
<http://www.niigata-er.org/search/>

小児救急ハンドブック  
(新潟市)

発行：新潟市急患診療センター  
〒950-0914  
新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号  
TEL 025-246-1199